

# 平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### 地域の現状と課題について

- ①引き続き担い手の高齢化、担い手不足は毎年の課題となり、20代から50代の世代にプラザを周知するため子育て支援ネットワークや折り紙教室、プラザまつりを開催しました。また地域の食事会や会合に積極的に出席し、顔の見える関係づくりに努めました。
- ②連合自治会、民児協、地区社協、地域ケア会議、自立支援チーム会議などに参加し地域の情報を共有しました。
- ③ケアプラザ迄距離がある地域には、広報紙を回覧しました。担当地区民生・児童委員研修会に3回出席しました。見守り活動のない町内の敬老食事会に1回参加、出張介護予防講座を3回開催しました。
- ④新しいマンションが建築され若い世代や新しい住民が増えましたが、自治会が発足していないこともあり、ケアプラザの周知は町の掲示板やホームページになりました。子育て支援・子ども事業は6事業を延べ46回開催し、延べ658名参加でした。
- ⑤地域ケア会議は、地域、区、社協、医療関係者、ケアマネジャー等で5回開催しました。町内会長、民生委員、店舗関係者とケアマネジャーの連携が課題となりフォーマル・インフォーマル情報を共有しました。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ①指定管理者として公の施設を公正・公平に管理しました。
- ②常に快適な施設を目指し、地域住民が安全・安心して地域ケアプラザの利用ができるようにしました。設備等の保守点検を専門業者をお願いし、計画的に行いました。
- ③月1回の委託業者による定期清掃、日々も委託業者に清掃委託しました。職員も施設回りなどの日常清掃・整理整頓に努め、備品管理、施設修理をしました。ごみも適切に仕分けしてヨコハマ3R夢プランを推進しました。
- ④消防回りなどの施設点検を毎日チェックしました。
- ⑤施設の周辺と3階の緑地帯の剪定や除草を年に1回専門業者に依頼し、衛生及び外観を整備しました。
- ⑥施設衛生管理では、感染症・食中毒予防などに力を入れました。11月1日から3月末まで毎日全館の手すりやドアノブなどの消毒に努めました。

### イ 効率的な運営への取組について

- ①常に節水、節電や資源の有効活用に心掛け、資源の日常的な無駄を省く努力を職員一同で継続しました。
- ②事務処理に関して法人本部と連携して効率的且つ安全に処理するようにチェック機能を強化しました。
- ③インターネット上で価格を常に確認するなど安価で信頼が出来る業者、品物を比較、検討して購入しました。委託業者も定期的に見直しました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ①法人では公正・中立の立場から第三者委員会を設置して適切な苦情解決に向けて整備しました。
- ②「苦情相談対応マニュアル」から苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整えました。
- ③第三者委員連絡先は施設内に掲示し、いつでも連絡が出来るようにしました。
- ④窓口（苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページ）だけでなく、日頃から意見を言いやすい環境、関係づくりを目指すため、来館者に積極的に挨拶声かけ心地良い接遇に努めました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ①「事故防止マニュアル」「事故緊急時の対応マニュアル」について適宜見直しを行い職員に周知しました。
- ②災害時特別避難場所として区と連携を深めました。災害備蓄物資の消費期限等をチェックし、適正な管理に努めました。
- ③年2回の避難誘導訓練を行い、1回は地域からの参加がありました。消火器の使用方法を確認しました。防災委員会を1回開催しました。
- ④緊急連絡網を適宜更新しました。
- ⑤AEDの備品などの使用期限をチェックしました。
- ⑥夜間はセキュリティシステムが稼動しました。

#### オ 事故防止への取組について

- ①「事故防止マニュアル」を見直し検討しました。職員と共有しました。
- ②ヒヤリ・ハットとした場合、職員ミーティングで報告、注意喚起しました。ヒヤリ・ハット報告書を作成し、事故の未然防止に取り組みました。
- ③職員が日常的に点検や目視を行い、事故予防に心掛けました。  
地域利用者の声から、スリッパの貸し出しを基本中止し、上履き持参協力を依頼。スリッパ使用時、踵が固定されないため階段昇降時転倒のリスクが高いためです。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①「個人情報保護取扱意識確認チェックリスト」を全職員で実施しました。  
新入職員には個別で実施。施設内でも個人情報保護研修を行い再認識しました。
- ②個人情報の書類は、全て書庫に施錠して保管管理しました。
- ③不要となった情報はシュレッダー破棄しました。
- ④事業所等への個人の報告等は郵送を基本としFAXでの送信の場合職員2名の指差しダブルチェックしました。FAXは同じ番号2回入力で送信する設定にしました。
- ⑤携帯電話は首から紐で掛けるようにし、使用時は暗証番号の入力が必要にしています。普段はロックをかけました。

#### キ 情報公開への取組について

- ①施設内で事業計画や決算報告等を掲示しました。  
ホームページ、市広報紙に事業の案内を掲載しました。
- ②介護サービス情報公表システムや横浜市の施設情報案内に情報を提供しました。
- ③プラザ広報紙で町内会回覧や掲示板、関係機関、地域の集まり時に配布しました。  
地域に広く周知するよう努めました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

- ①国の施策でもある GND（グリーンニューディール）事業に協力し、太陽光発電設備について適切に管理しました。
- ②横浜市の一環に準じて冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な照明の消灯、ボイラー・事務機器の電源オフ、ブラインドを使用しました。
- ③ヨコハマ 3R 夢プランに基づき、貸し館利用者にごみの持ち帰り協力をお願いしました。
- ④ゴミを分別毎に分け、職員会議でも随時ゴミ回収の案内や方法を周知しました。
- ⑤施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力を得て花壇の手入れ、3階屋上を剪定し、維持管理しました。
- ⑥宮崎まつりでもゴミ収集場に職員を配置し、来場者の協力を得てゴミ分別しました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

3職種（看護師1名・主任ケアマネジャー1名・社会福祉士1名）で介護予防支援事業に従事しました。

#### 《目標》

達成目標と支援方法を明らかにし、利用者本人とそのご家族、関係機関全員が統一した計画のもとで、自立に向けた支援を行います。サービスの必要性についても確認していきました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

公正中立な立場で事業に取り組みます。

#### 大人の学校

地域交流と包括支援センターとの共催事業（大人の学校）をとおして、認知症の予防と認知症の方の支援を行いました。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
111	107	107	110	103	106
10月	11月	12月	1月	2月	3月
99	100	96	89	86	91

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者… 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員… 2名（常勤専従）

《目標》

① 介護支援専門員としての資質の向上

- ・ 各ケアマネジャーの経験年数に合わせ個人別に研修計画を作成・実施し、振り返りを行いました。
- ・ 西区ケアマネ研究会へ役員として参画し、地域のケアマネジャーの向上に貢献しました。

② 安定した経営基盤の確立

- ・ 安定した給付件数の維持…平均 35 件以上の給付を達成しました。

③ 連携の強化…

- ・ 事業所内で週 1 回会議を行い、ケースについて一人が悩み考えるのではなく、事業所全体で問題の解決方法を模索しました。
- ・ 担当者が不在でも対応が行えるよう、管理ソフトを活用し記録を充実させ、内容を分かりやすく整えました。
- ・ 対応困難な事例に関してはまずは部署で問題解決を図り、解決しない際は地域包括支援センターと連携し支援しました。医療面での困難事例では西区医療相談室との連携し支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 確実なステップアップを図るため、個人が自己評価しそれを部署として評価し、それに対し実現可能な目標を立て、研修に取り組んでおります。
- ・ 毎週のミーティングに時間をかける事で、具体的な方向性や解決方法を部署全員で検討しています。

※上記を行うことで、各自がそれぞれに状況に応じた成長が図れています。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
102	100	105	105	103	104
10月	11月	12月	1月	2月	3月
106	104	101	99	101	98

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画の作成      ●介護サービス(食事・排泄・更衣、介助等)
- 生活指導(生活援助)      ●健康状態の確認
- 日常機能訓練(日常生活動作)      ●レクリエーション
- 送迎      ●給食      ●入浴

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

●○1割負担分

(要介護1)	704 円	(要介護2)	831 円
(要介護3)	963 円	(要介護4)	1,095 円
(要介護5)	1,227 円		
○入浴負担	54 円		

●○2割負担分

(要介護1)	1,407 円	(要介護2)	1,662 円
(要介護3)	1,926 円	(要介護4)	2,189 円
(要介護5)	2,453 円		
○入浴負担	108 円		

- 食費負担      700 円(おやつ代含む)

- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 4.0%×地域単位 10.72 円の 1 割負担

《事業実施日数》 週 7 日(年末年始[12/29~1/3]を除き、年中無給)

《提供時間》 9:00~16:00、9:30~16:30

《職員体制》

管理者	1 名(常勤兼務 1 名)
生活相談員	5 名(常勤兼務 5 名)
看護職員	3 名(常勤兼務 1 名、非常勤兼務 2 名)
介護職員	14 名(常勤専従 1 名、常勤兼務 5 名、非常勤 8 名)
機能訓練指導員	3 名(常勤兼務 1 名、非常勤兼務 2 名)
運転業務職員	8 名(常勤兼務 3 名、非常勤 4 名、非常勤兼務 1 名)

《目標》

日頃、外出の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどのサービス提供することで、一日を楽しく、安心、安楽に過ごしていただきました。また、その有する能力に応じ、自立した日常生活ができるように援助していきました。

信用と信頼を大事に、丁寧に妥協せず取り組んでまいりました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ①音楽療法の取組み:外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。(年3回)
- ②体操やレクリエーションにて、楽しみながら日常動作機能訓練を行いました。
- ③口腔ケアの実践:うがいや昼食前の口腔機能体操、食後の歯磨き・義歯洗いの奨励など、口腔清潔の啓発、援助を行いました。
- ④食事の充実:毎月1回「給食委員会」にて、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑤お客様満足度調査の実施:アンケート調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。
- ⑥レクリエーションの充実:トランプ・麻雀・書道など、ご自身で選択していただきました。また、好評なアニマルセラピーボランティア(ワンタッチクラブ)に、継続的に訪問活動していただきました。
- ⑦毎月季節にあわせた薬湯週間を設けました。
- ⑧フロア内のレイアウト、模様替え、季節にあった作品の展示を行いました。

《利用者人数（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
501	520	519	589	562	544
10月	11月	12月	1月	2月	3月
598	559	524	541	550	559

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画の作成
- 介護サービス(食事・排泄・更衣、介助等)
- 生活指導(生活援助)
- 健康状態の確認
- 日常機能訓練(日常生活動作)
- レクリエーション
- 送迎
- 給食
- 入浴

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

- ○ 1割負担分
  - (要支援1) 1,776 円(月額)
  - (要支援2) 3,621 円(月額)
  - 運動機能向上加算 242 円(月額)
- ○ 2割負担分
  - (要支援1) 3,531 円(月額)
  - (要支援2) 7,241 円(月額)
  - 運動機能向上加算 482 円(月額)
- 食費負担 700 円
- 介護職員処遇改善加算 I  $\text{介護報酬総単位数} \times \text{サービス別加算率 } 4.0\% \times \text{地域単位 } 10.72 \text{ 円の } 1 \text{ 割負担}$

《事業実施日数》 週7日(年末年始[12/29~1/3]を除き、年中無給)

《提供時間》 9:30~16:00

《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標》

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、ご利用者様個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートします。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ①音楽療法の取組み:外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。(年3回)
- ②体操やレクリエーションにて、楽しみながら日常動作機能訓練を行いました。
- ③口腔ケアの実践:うがいや昼食前の口腔機能体操、食後の歯磨き・義歯洗いの奨励など、口腔清潔の啓発、援助を行いました。
- ④食事の充実:毎月1回「給食委員会」にて、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑤お客様満足度調査の実施:アンケート調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。
- ⑥レクリエーションの充実:トランプ・麻雀・書道など、ご自身で選択していただきました。また、好評なアニマルセラピーボランティア(ワンタッチクラブ)に、継続的に訪問活動していただきました。
- ⑦毎月季節にあわせた薬湯週間を設けました。
- ⑧フロア内のレイアウト、模様替え、季節にあった作品の展示を行いました。



《利用者人数（延べ人数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
106	97	87	95	105	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
111	97	79	65	64	70

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ① 職員体制は、土日祝日を含めて1名以上の出勤を継続しました。
- ② 地域の食事会に月1回以上は参加しました。また、ふれあい会の会議に出席し、地域住民について情報共有を図りました。
- ③ 自立支援協議会の余暇活動において、今年度は初めて、ボランティアとしての参加を地域に呼びかけました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ① 月に1回4職種連携のための会議を行い、情報の共有を行いました。
- ② 地域活動交流事業の介護予防目的の講座を共催し、必要に応じて個別支援をしてきました。
- ③ 地域の食事会に、月1回以上の参加をし、周知活動に努めました。
- ④ ②について、地域包括支援センターと地域活動交流事業で連携しました。

### 3 職員体制・育成

- ① 各事業の資格要件及び職員配置基準を満たした配置を行いました。
- ② 各事業にサブコーディネーターを担当制にしました。毎月の会議や日々の業務の中で地域活動コーディネーターがサブコーディネーターのOJTに努めました。
- ③ 各職員の資質向上を目指して、積極的に研修に参加するよう勤務調整しました。毎月施設内研修を実施しました。その他法人リーダー研修も継続的に複数回実施しました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ① 医師・民生児童委員・ケアマネジャー等多職種ミーティングを今年度も年4回（4包括各1回）開催して相互交流を図ることにより、地域の認知症高齢者とその家族を見守ってきました。
- ② 今年度も担当地区民生・児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取り組み、実施しました。
- ③ 地区社協活動などの地域の福祉保健活動に企画の段階から参加し、情報交換、共有し、活動の支援を継続してきました。
- ③ 地域の福祉保健の問題を把握し、それに対する具体的な取組みが行われています。その活動を支援するため関係機関（小学校、警察署・警察OB会・交通安全協会など）と地域の情報交換、情報共有を行いました。
- ⑤ ボランティア交流会を開催し、情報交換や活動紹介を行える場・機会を設けました。

### 5 区行政との協働

- ① にこまちプランを区行政、社協とともにケアプラザができることを協働で推進しました。
- ② 日頃からお互いの情報を共有し、各々の役割を担い、連携に努めてきました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 地域における福祉保健活動団体や人材などの社会資源（地区社会福祉協議会・連合町内会・地区民生児童委員協議会・地域のサロンや昼食、配食サービスなど）を把握し情報提供をしました。
- ② 年間3か月毎3回発行の「広報みやざき」の情報案内を充実させ、毎月末発行のまもり隊活動（地域防犯、登下校パトロール）を支援する「まもり隊ふれあい情報通信」を発行しました。また活動者に直接配布、町内回覧や掲示を行いました。ホームページを定期的に更新しました。
- ③ 近隣の子育て拠点や保育園と情報を館内に設置しました。
- ④ 会場利用団体の活動を紹介し、交流会を開催しました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ① 地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、貸室の整備案内や募集案内等のPR広報（広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示など）の活動をしました。
- ② 空き室情報を利用者に分かりやすいように、随時館内に会場利用状況を表示してお知らせしました。
- ③ 福祉保健活動のニーズを定期的に情報誌にて提供しました。

### 3 自主企画事業

- ① 認知症・介護予防と現状維持・現状改善を目指す学習療法サロンでは体操や料理、歌などを取り入れ毎週定期的に開催しました。
- ② 上記事業開催に伴う、高齢者支援ボランティアを育成しました。
- ③ 居場所の提供として男性参加率の多い活動の場を開催しました。
- ④ 子育て事業で親子の交流、子育て講座、情報交換やイベント活動を行いました。また、近隣の子育て拠点や保育園と情報を共有し、事業参加の親子に提供しました。
- ⑤ 地域住民交流事業とケアプラザ啓発の事業に力を入れました。
- ⑥ 地域住民、施設利用者などのアンケートや声から、ニーズに合った事業を開催しました。
- ⑦ 自主化した団体への支援（共催事業や地域などでの活動の場）を行いました。
- ⑧ 継続的な障がい者支援のイベントを行いました。
- ⑨ 65歳未満や、介護保険サービスなどの利用対象外の地域住民に、状況に応じて既存の講座で受入れをしました。
- ⑩ また、それに伴うボランティアの育成を行いました。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ① 西区社会福祉協議会と、各自主事業に向けたボランティアの育成を行いました。また引続きボランティア講座参加者を自主化した団体へ活動支援を行いました。
- ② 地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を行い、実活動へ繋げました。
- ③ ボランティア活動のための、情報紙を定期的に発行し館内に掲示しました。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

- ① 職員体制は、土日祝日を含めて1名以上の出勤を継続しました。
- ② 地域の食事会に月1回以上参加し、食事を摂ったあとに相談を受けることができました。
- ③ 出張相談については、平成28年1月に開催の包括レベル地域ケア会議において、地域の商店に提案しました。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

- ① 認知症の方と家族を見守る多職種ミーティングを11月に開催しました。医師、ケアマネジャー、民生児童委員、地域の関係者が情報を共有し、それぞれの役割を確認し意見交換しました。
- ② 個別ケース地域ケア会議を5回開催し、フォーマル、インフォーマルの連携について課題抽出されました。民生委員、ケアマネジャー、地域の店舗との連携を図るため、包括レベル地域ケア会議を開催しました。あんしんカードや居宅サービス計画書の活用が確認されました。
- ③ 西区在宅医療相談室運営事務局会議に5回参加し、情報を共有しました。

#### 実態把握

- ① 代行申請した方への連絡を今年度も継続しました。
- ② 四半期ごとの相談内容について、統計資料にまとめました。地域の商店にもご参加いただいたケアプラザレベルの地域ケア会議で出張相談の提案をしました。平成28年度に具体化していきます。
- ③ 食事会など地域活動に参加した時の記録用紙を改訂し、その場で聴き取ったニーズを記録していくようにしました。

### 2 権利擁護

#### 権利擁護

- ① 4包括と区役所、社会福祉協議会共催で、成年後見制度についての講座（3回69人）を行いました。
- ② お葬式マナー講座の実施はありません。年度途中に、デジタル遺品についての話題をマスコミで確認した為、デジタル遺品の話を含めたエンディングノート講座を企画しています（平成28年2月28日）。
- ③ 地域の食事会で、成年後見についての説明を行ったほか、ケアプラザの広報誌で啓発活動を行いました。

#### 高齢者虐待

- ① 虐待相談（ケアマネジャーからの相談2件）を受けた時、速やかに区に報告し、情報共有をしたうえで、対応方法を連携して検討してきました。
- ② 4包括と区役所、社会福祉協議会共催で、通所介護施設への虐待防止講座（12回127人）を行いました。
- ③ 虐待防止について、認知症サポーター養成講座では啓発活動を行いました。地域住民に対し直接説明する機会は設けませんでした。平成28年度は、地域住民向けに寸劇を交えた講座開催を予定しています。
- ④ 介護疲れから虐待につながることはないよう、介護者のつどい（2回22人）を行いま

した。今年度は、区内で1か所のみ実施している男性介護者のつどいに、エリア内の方をご紹介します、当地域包括支援センターの職員と一緒に参加しました。

#### 認知症

- ① ボランティア養成講座を開催し、1名の方が認知症予防講座で活動しました。
- ② 推薦したキャラバンメイトさんが交流会へ参加しました。
- ③ おとなの学校(認知症予防講座)を、地域交流と包括支援センターとの共催事業で行い、相談のあった方を講座につなぎました。
- ④ 元気づくりステーションの参加者対象に元気づくりに参加されているキャラバンメイトさんに講師になっていただき、講座を開催しました。
- ⑤ 地域の方から認知症サポーター養成講座の依頼があり、ご自宅で開催し11名の参加がありました。
- ⑥ 民生委員の勉強会で、認知症サポーター養成講座を行い、認知症の方の事例を取り上げました。その後、地域のお茶会に参加し、認知症の方への対応の学習会を行いました。

### 3 介護予防マネジメント

#### 二次予防対象者把握

- ① 以前ケアマネジメントした二次予防事業対象者の方3名が元気づくりステーションにつながりました。その他の方は電話や訪問で状況確認を行ないました。
- ② 元気づくりステーションへつながった方や、宮崎地域ケアプラザへの講座やボランティアで活動している方には、声掛けを行なっています。また経過観察が必要な方は見守りを行ない食事会の声掛けを行ないました。

#### 介護予防ケアマネジメント力

- ① げんき活動応援団を開催し、地域で体操を広めてくださる方・地域の健康づくりに役立たい方を中心とした講座を開催しました。  
二次予防事業対象者も一緒に無理なく講座に参加できるよう働きかけをしました。
- ② 個別相談や担当者会議に出席し、地域活動等の情報提供を行い、インフォーマルサービスにつなぎます。
- ④ 西区又は委託契約を結んでいる近隣区のケアマネジャーを対象に、4包括主任ケアマネ事業として介護予防研修を年1回実施します。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

#### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① 民生委員、ケアマネジャー、近隣店舗に参加を呼びかけ、包括レベル地域ケア会議を開催しました。個別ケースから抽出された課題を共有し、意見交換を行いました。連携ツールとして、あんしんカードや居宅サービス計画書3表の活用を確認しました。
- ② ケアマネからの相談を受け、地域の見守り活動や民生委員につなぎ、連携を図りました。
- ③ 地域の食事会に月1回以上参加し、介護保険の説明やケアマネジャーの役割を説明すると共に介護の相談を受けました。
- ④ 地域担い手の会議に参加し、個別ケースの相談を受け、地域ケア会議を開催しました。

#### 医療・介護の連携推進支援

- ① 4 包括共催事業として、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、医療相談室、包括支援センターの交流会を開催し、病院情報一覧をケアマネジャーに提供しました。
- ② ケアマネサロンでターミナルケアの勉強会を開催し、在宅医、医療相談室、ケアマネジャーの参加がありました。
- ③ 西区在宅医療相談室運営事務局会議に 5 回出席し、情報を共有しました。

#### ケアマネジャー支援

- ① ケアマネサロンを 7 回開催しました。
- ② 西区ケアマネ研究会に参加し、ケアマネのニーズを把握してケアマネサロンを開催しました。
- ③ ケアマネからの相談を受けて、同行訪問や担当者会議、個別地域ケア会議を開催しました。

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ① 多職種ミーティングでは、若年性認知症のケースを取り上げ、関係者間で、介護者の支援が必要であることを共有しました。あけぼの会につなぎ、わたぼうしカフェや男性介護者のつどいに参加されました。
- ② 民生委員の勉強会で認知症のケースを取り上げ、地域の見守りが必要であることを共有しました。

### 介護予防事業

#### 介護予防事業

- ① げんき活動応援団を開催し、地域で体操を広めてくださる方・地域の健康づくりに役立てたい方を対象に講座を開催し地域の活動へとつなげていきました。
- ② 元気なうちからロコモ予防講座を野毛山荘で開催し、元気づくりステーションへつなげられなかったが、戸部コミュニティハウスで開催しているスクエアステップ講座へは参加者をつなげました。
- ③ ケアプラザから遠方であり見守り活動のない赤門町で、栄養と口腔講座の介護予防講座を開催し、住民の状態把握や情報提供に努めました。

### その他

国に施策でもある GND（グリーンニューディール）事業に協力しました。  
平成 27 年度から運用が開始された太陽光発電設備について適切に管理しました。

# 平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:宮崎地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日  
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	19,844,230	23,629,830	149,040				
	介護保険収入	0			1,756,748	20,134,533	64,721,352	5,139,887
	その他	999,862	0	0	0	0	6,011,687	0
	利用者負担金	999,862					6,011,687	
	<b>収入合計(A)</b>	<b>20,844,092</b>	<b>23,629,830</b>	<b>149,040</b>	<b>1,756,748</b>	<b>20,134,533</b>	<b>70,733,039</b>	<b>5,139,887</b>
支出	人件費	12,008,061	21,529,802			21,423,304	48,399,500	
	事務費	2,242,359	1,251,741				1,049,432	
	事業費	1,308,735	65,770	145,113			14,355,512	
	管理費	5,773,987	1,534,847				4,022,764	
	その他	697,523	1,061,860	0	0	0	2,278,439	0
	施設使用料相当額							
	指定額・追加契約	697,523	1,061,860					
その他						2,278,439		
	<b>支出合計(B)</b>	<b>22,030,665</b>	<b>25,444,020</b>	<b>145,113</b>	<b>0</b>	<b>21,423,304</b>	<b>70,105,647</b>	<b>0</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-1,186,573</b>	<b>-1,814,190</b>	<b>3,927</b>	<b>1,756,748</b>	<b>-1,288,771</b>	<b>627,392</b>	<b>5,139,887</b>

# 平成27年度 自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①しあわせサロン宮崎	目的：家庭に閉じこもりがちで、高齢者に外出の機会をもち、仲間同士の見守り、CPとの関わり方も随時増えて行く場。 会食会。レクリエーション。	毎月第2水曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②子育て支援『親子わくわく』	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てをしていく中で、お母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：季節に合ったプログラムや親子レク、食育、座学、ほか。	毎月第1月曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③子育て支援『ぼっ・ぼっ・ぼっwithみやざキッズ』	目的：乳幼児親子同士とおはなし会ボランティアグループ・CP職員が子育て相談などを行う。読み聞かせ、手遊びなどで交流を図る。	毎月第3月曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④子育て支援『天使のほっぺ』	目的：0歳児親子を対象。お母さん同士とCP職員との交流の場。子育ての相談・支援。	毎月第3金曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑤子育て支援『パパあのおね!!』	目的：お父さん同士とCP職員との交流の場。地域の担い手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊びを中心に子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコミュニケーションを図る。	毎月第3土曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑥地域支援『ワンコイン音楽サロン』	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康作りを支援。地域住民・異世代交流の場。 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導。	毎月第1土曜日 13：30～ 15：30 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑦地域支援事業『おりがみクラブ』	目的：おりがみを通じた脳トレ。介護予防。地域住民の交流。	第3火曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑧boy'sキッチンワーカー	目的：男性の初心者向け料理教室。料理をツールとした福祉保健活動。内容：包丁の持ち方から、食材の切り方、調味料の計量の仕方レシピの味方など料理の基本から簡単な料理を行う。	毎月第3水曜日 10：00～ 13：00



# 平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑨大人の学校	目的：学習療法を用い、た認知症・介護予防・改善を目指したサロン。 内容：学習療法・参加者同、サポーターとの交流。	毎週火曜日 13：30～ 15：30

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑩脳いきいき宮崎マージャン	目的：マージャンをツールとした介護予防。引きこもり防止。異世代交流、地域交流をメンバーで図る。 内容：宮崎地域CPのルールを作り、参加者でマージャンを楽しむ。メンバー同士の交流。	毎月第2・4土曜日 13：30～ 17：20

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑪地域支援事業『まもり隊』事務局	目的：平成16年度地域支え合い連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した。子どもの見守り、町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支え合い連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政（警察・消防署・区）との連絡調整また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り。防犯活動はほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校毎月発行

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑫地域支援事業『宮崎まつり』	目的：①地域住民とCPとの交流の場。②地区社協と共催する事で地域住民との繋がりを深めていく。③CP啓発。 内容：福祉保健活動されている地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など。	年1回 11：00～ 14：00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑬新春宮崎マージャン	目的：マージャンをツールとした介護予防。引きこもりの防止。 内容：マージャン大会。	年1回（1月）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑭高齢者支援ボランティア講座	目的：ボランティア育成。地域の認知症のサポーターを育成する。 内容：高齢者。認知症のことを学び支援の仕方を学ぶ。	年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑮ボランティア交流会	目的：当CPにてボランティア活動をしている方・団体との地域の団体との交流の場。活動を知り情報交換をすることで、地域のなかでの福祉保健活動をしやすい環境を作る。	年2回

# 平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑯小学生クッキー作り	目的：障がい者作業所のメンバーと小学生との交流。交流する事で障がい者の事を知ってもらう。地域近郊にある地域作業所との連携し、題材に取り組む。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑰小学生おもしろ科学館	目的：小学生親子に地域CPを知って頂く。異学年、異小学校、異世代の交流。地域近郊の施設との連携。 内容：青少年センターの職員に協力をいただき科学実験ショーと科学の実験を行う。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑱ふれあい交流会	目的：異世代交流による住みよい地域作り。幼稚園児と高齢者の交流の場を作ることでもちいきに戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も知己の幼稚園を意識した生活をする事で声掛け見守りの活動を進んでしてくれます。 内容：高齢者と幼稚園児の交流。レクリエーション。会食等。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑲ボランティアパティシエ・ガールズ	目的：お菓子をツールとした福祉保健活動を行う。内容：地域住民の集まる活動にお菓子を作り提供する。	毎月第1土曜日 12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑳障がい児・者夏・冬余暇支援事業	目的：障害児の余暇活動支援。参加者やボランティアの方と障がい児・者の交流。新しい事にチャレンジをし、色々な活動を体験する。 内容：参加者やボランティアの方と一緒にパン作り、お餅つき等やレクリエーションをし、夏・冬の思い出をつくる。	年1回

# 平成27年度 自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①介護者のつどい	あけぼの会との交流会を実施した。介護者の悩みを受け止めストレスを軽減し、わたぼうしカフェや男性介護者のつどいにつないだ。	6月1回 11人、 11月1回 11人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②大人の学校	介護予防を目的に、簡単な計算や読み書きの問題、数字盤のほか、歌や体操を取り入れ実施。	通年火曜日48回・ 778人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③包括とMSW・CM交流会（4包括共催）	医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、西区在宅医療相談室、区、包括支援センターの交流と意見交換を行った。病院情報一覧を作成し、ケアマネジャーへ情報提供した。	7月1回 43人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑤認知症サポーター養成講座	認知症の理解を深め、地域での見守り、介護者の支援を進めるために認知症サポーターを養成した。	6月1回 14人 9月1回 13人 10月1回 11人 1月1回 21人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑥権利擁護事業（単独単発）	権利擁護について、普及啓発を目的に、エンディングノート（デジタル遺品についての話を含む）講座を実施	2月1回17人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑦権利擁護事業（4包括社福）	虐待予防について普及啓発を目的に、地域の通所介護事業所12か所に対し出張講座（虐待の基礎と演習）	通年12回127人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑧民生委員児童委員とケアマネジャー交流会	近隣ケアマネ、民生委員、店舗との交流会・包括レベル地域ケア会議を実施。	1月1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑨ケアマネジャー学習交流会（4包括主マネ共催事業）	西区近隣ケアマネの学習と交流を目的に、講演会や事例検討会を実施。	5月25人、8月13人 9月42人、10月39人、 11月28人、1月29人、2月、 3月18人

## 平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑩宮崎まつり	ロコモ度テスト（2ステップテスト）で歩幅を測定し下肢の筋力・バランス能力・柔軟性を含めた歩行能力を評価	10月1回35人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑪障がい児・者冬余暇	障がい児者の余暇活動と地域とのつながりを目的に、餅つきとレクリエーションの提供	1月1回91人

## 平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額						
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他	
①しあわせサロン	70歳以上の一人暮らし・日中独居	206,262	29,262	177,000	12,250	187,292	6,720	
	75歳以上の高齢者世帯							
	40名500円他実費							
②子育て支援 『親子わくわく』	0歳児親子 登録15名 原則なし	16,397	15,797	600	0	9,117	7,280	
	③子育て支援『ぼっ・ぼっ・ぼっwithみやざキッズ』	未就園親子 なし なし	31,764	31,764	0	26,724	0	5,040
		④子育て支援『天使のほっぺ』	0歳児親子・プレママ 登録15名 原則なし	14,073	14,073	0	3,341	4,012
⑤子育て支援 『パパあね！！』			1歳～未就園父子 登録15名 原則なし	8,840	8,840	0		2,120
	⑥地域支援 『ワンコイン音楽サロン』		地域住民誰でも 40名 500円	185,307	(19,193)	204,500	133,632	44,955
		⑦地域支援事業 『おりがみクラブ』	地域住民誰でも 10名 1回100円	50,073	25,873	24,200	40,092	4,941
⑧boy'sキッチンワーカー			地域住民誰でも 10名 1回100円	54,351	15,351	39,000	0	48,191
	⑨大人の学校		地域住民誰でも 15名 月4回 1500円	175,555	1,555	174,000	70,119	85,276
		⑩脳いきいき宮崎 マーじゃん	地域住民誰でも 28名 1回300円	140,143	(7,757)	147,900	0	126,703
⑪地域支援事業 『まもり隊』事務局			活動者 50名 なし	24,813	3,501	21,312	0	24,813
	⑫地域支援事業 『宮崎まつり』		地域住民誰でも なし なし	202,121	70,471	131,650	11,136	188,185
		⑬新春宮崎マーじゃん	地域住民誰でも 32名 500円	7,832	632	7,200	0	7,832
⑭高齢者支援 ボランティア講座			地域住民誰でも 20名 100円	3,360	3,360	0	0	1,120
	⑮ボランティア交流会		宮崎のボランティア様 なし なし	11,125	11,125	0	0	10,005
		⑯小学生クッキー作り	小学生 20名 500円	13,157	5,657	7,500	5,568	6,469
⑰小学生おもしろ科学館			小学生 20名 500円	18,128	6,128	12,000	5,568	12,000
	⑱ふれあい交流会		お年寄りと幼稚園児 20名 なし	6,034	6,034	0	0	4,634
		⑲ボランティア パティシエ・ガールズ	地域住民誰でも 3名 なし	0	0	0	0	0
⑳障がい児・者 夏余暇支援事業			障がい児者 16名	28,015	23,515	4,500	10,017	17,438

## 平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
①介護者のつどい	介護者ご本人、介護に関心のある方	500	500	0	0	0	500
	22人						
	なし						
②大人の学校	地域住民すべて	49,711	49,711	0	0	0	49,711
	なし						
④包括とMSW・CM交流会	MSW・CM	0	0	0	0	0	0
	43人						
	なし						
⑤認知症サポーター養成講座	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	59人						
	なし						
⑥権利擁護講座 (単独単発)	地域住民すべて	11,137	11,137	0	11,137	0	0
	なし						
⑦権利擁護事業 (4包括社福)	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	40人						
	なし						
⑧民生委員児童委員とケアマネ交流会	民生委員児童委員	4719	4719	0	0	0	4719
	なし						
⑨ケアマネサロン (4包括主マネ)	西区近隣のケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	なし						
⑩宮崎まつり	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	なし						
⑪障がい児・者冬余暇	障がい児・者	8,058	8,058	0	0	8,058	0
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。